

# プラスチック油化装置

株式会社伸光テクノス（愛知県一宮市）

## 概要

- ・ プラスチック及び原油由来品を熱分解し、液体燃料、可燃性ガス、炭化物を生成する装置。
- ・ 触媒を使用することで、タール分の少ない品質のよい軽質油・重質油の生成が可能。

## 特徴

1. バッチ式処理のため、プラスチックに限らず、廃プラスチック・廃タイヤ・廃漁網・医療性廃棄物の処理や携帯電話から貴金属を回収する前処理まで、多目的に利用可能。
2. 塩素系有害物質・ハロゲン系有害物質の処理にも対応。
3. 処理物にあわせて、最適な触媒を採用することで、タール分の少ない油の生成が可能。
4. 低燃費の装置であり、かつ、生成した液体燃料を熱源として使用するため、ランニングコストを非常に低く抑えることが可能。
5. 二段階のガス冷却方式の採用により、軽質油と重質油を分けて回収が可能。
6. 緊急自動停止システム・強制冷却システム・オフガス燃焼システムの導入により、高い安全性を実現。



油化装置 BP-5000N

## 導入実績



産業廃棄物処理業者  
(福井県)



環境事業者  
(滋賀県)



資源回収業者  
(山形県)

## 効果

### 弊社油化装置での油化実験結果

材 料 名	生成回収率%		
	生成油	ガス	残渣
タイヤ	38.0	12.0	50.0
ナイロンパック(PP, PE)	77.3	20.5	2.2
PSペレット	77.5	17.4	5.1
安全ネット(PP)	77.5	21.8	0.7
電線皮(PE+EVA)	75.8	17.3	6.9
混合プラスチック(PP, PS, PE)	81.1	18.0	0.9
魚箱(発泡PS)	83.1	9.5	7.4
廃トナー(コピー用)	49.9	12.8	37.3

生成油 : 重質油、軽質油

ガ ス : 可燃性ガス

油化装置のバーナー用燃料に使用可能

残 渣 : 炭化物、金属、レアメタル等

※ 材料の種類、状態により、油化率、油の品質等は大幅に変動します。

## 技術の高度化

- ・ 生成油(重質油、軽質油)、生成ガスを利用し、発電等も可能である。
- ・ 触媒の活性反応を利用することで、生成油の炭素数を条件的にコントロール可能。
- ・ タイオキシン等の発生がない。

## 販路開拓の取組

- ・ 複数の大学との共同研究、国内外学会での発表。
- ・ ホームページの利用。
- ・ 国内展示会(環境展)、国外展示会(中国国際工業博覧会)への出展。

## 企業概要

代 表 者: 代表取締役社長 木村 護

資 本 金: 3,000万円

主な製品等: プラスチック油化装置、加水分解装置

U R L: <http://www.shinko-mfg.co.jp>

## 連絡先

常務取締役 長澤 健太郎

所 在 地: 愛知県一宮市真清田一丁目1-20

T E L: 0586-28-9461

E - m a i l: [info@shinko-mfg.co.jp](mailto:info@shinko-mfg.co.jp)